

出雲市新たな観光財源検討委員会の検討状況について

令和 7 年 7 月に設置した「新たな観光財源検討委員会」(奥谷 健委員長 10 人) の状況につきましては、8 月 29 日の全員協議会で報告したところです。その後の検討状況は以下のとおりです。

記



1. 第 1 回財源検討委員会【開催日：令和 7 年 7 月 30 日 (水)】

議題

- (1) 検討委員会の開催概要について…………… 設置目的、構成 (会議資料、議事概要の WEB ページ)
(2) 開催スケジュール…………… 年間スケジュール (案)
(3) 新たな観光財源の必要性について…………… 出雲市観光基本計画の説明、出雲市の財政状況

◇主な議論

出雲市観光基本計画の将来像「住んでよし、訪れてよしの観光まちづくり」を実現するため、新たな観光財源の必要性について議論が行われた。委員からは、財源確保の必要性に概ね共通認識が得られたものの、財源手法や受益と負担のあり方については、引き続き議論が必要との意見が出された。

◇委員からの主な意見

- ・新たな財源の確保は「持続可能な観光地経営と地域経済循環の強化」のために絶対に必要である。
- ・宿泊税の使途が漠然としておりと誤解を招く可能性があるため、目的を明確にする必要がある。
- ・ビジネス客への影響や宿泊税の正当性について検討が必要。

2. 第 2 回財源検討委員会【開催日：令和 7 年 9 月 16 日 (火)】

議題

- (1) 観光戦略の推進に必要な財政需要について… 現在の観光振興予算、観光戦略推進に必要な需要額
(2) 新たな観光財源の選定について…………… 主な観光財源とその内容 ほか

◇主な議論

観光戦略推進に必要な財政需要が整理され、2 億 3,000 万円が目標値として設定された。委員会では、宿泊税を新たな観光財源の主要な軸とし、駐車場料金や駐車場税を補完的に検討する方向が確認された。

(内訳)

事業費総額 **2億3,000万円**

	事業費総額
A マーケティング力強化戦略	5,000万円
B 観光まちづくり戦略	1億3,000万円
C 誘客・ファン拡大戦略	3,000万円
D 観光地経営体制・人づくり戦略	2,000万円
合計	2億3,000万円

◇委員からの主な意見

- ・観光客だけでなく、さまざまな目的で来訪する全ての来訪者を対象とした戦略の推進が必要。
- ・「通過型観光」から脱却し、365 日楽しめる施設や体験コンテンツの造成を求める。
- ・観光地の周遊性を高めるために、二次交通の改善やアクセス手段を充実すべき。
- ・DMO (観光地域づくり法人) の強化とデータに基づく戦略推進が必要と確認された。
- ・財源の導入に際しては、住民や事業者への理解促進が不可欠である。

3. 第3回財源検討委員会【開催日：令和7年11月20日（木）】

議題

- (1) 宿泊事業者へのアンケート調査結果について・令和7年10月〔52件/126件（回答率41.3%）〕
- (2) 課税要件について…………… 税の原則、導入済他自治体の状況
- (3) 駐車場の利用料金のあり方について…………… 市営駐車場の分布、有料化の状況

◇主な議論

宿泊事業者へのアンケート結果を共有し、事務負担、公平性に関する懸念点が委員間で議論が行われた。また、課税の基準として宿泊数と宿泊料金のどちらを採用すべきか、免税基準の設定など、課税要件の骨格について議論が行われた。

具体的な課税要件については、宿泊事業者への説明会での意見を踏まえ、再度議論を行うこととした。


さらに、市営駐車場の有料化や料金改定、協力金といった宿泊税以外の財源についても検討され、副次的な財源として引き続き検討を進める方針が決定された。今後の宿泊事業者向け説明会のスケジュールが共有された。

◇委員からの主な意見

- ・アンケートを通じて、事業者がシステム改修やお客様への「周知の問題」など、具体的な実務面で多くの不安を抱えていることが明らかになったと指摘。
- ・事業者が回答した意見が「どう反映されるのか」という点への関心が高いとし、今後の説明会では税導入の「必要性」や「メリット、デメリット」を丁寧に説明する必要がある。
- ・課税要件については、主に事務簡素化と公平性の観点から議論され、宿泊事業者である委員からは事務負担の軽減を求める意見あり。
- ・1泊当たり〇〇円といった定額方式の場合、低価格の宿泊者にとっての負担割合が大きくなり公平性の問題が生じる。
- ・宿泊料の〇％といった定率方式は事業者にとって事務負担が増える一方で、インフレなど物価上昇に連動して税収が伸びるというメリットがあるため、多角的な議論が必要である。

4. 今後のスケジュール

・今後、宿泊事業者への説明を複数個所で丁寧に開催する必要があるため、第4回目以降を2～3か月程度遅らせる予定

変 更 案	当 初 案
R 7. 1 2～R 8. 1 宿泊事業者との意見交換会（説明会） R 8. 2 第4回財源検討委員会  <ul style="list-style-type: none">・第5回財源検討委員会・答申・議会報告・パブリックコメントの実施	R 7. 1 2 宿泊事業者との意見交換会（説明会） R 8. 1 報告書（素案）検討 R 8. 2 答申 R 8. 3 議会報告 パブリックコメント実施

※今後調整